

二級建築士試験／木造建築士試験 指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別: <b>高専</b>	学校課程コード: <b>1931-001-110</b>
所在地都道府県: <b>石川県</b>	審査受付番号: <b>171590</b>
学校名 課程名: <b>石川工業高等専門学校 建築学科</b>	
対象入学年: <b>平成30年度(2018年度)</b> 修業年限: <b>5年</b>	新規申請の認定通知日: <b>2017/12/25</b>
必要な実務経験年数 <b>試験時:最短0年 登録時:最短0年</b>	変更申請の認定通知日: <b>2018/12/25</b>

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	建築設計Ⅰ	1年	4
①建築設計製図	建築設計Ⅱ	2年	6
①建築設計製図	建築設計Ⅲ	3年	6
①建築設計製図	建築設計Ⅳ	4年	6
①建築設計製図	建築CAD基礎	3年	1
①建築設計製図	建築CAD応用	4年	1
<b>小計</b>			<b>24</b>
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画学基礎	2年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画学演習	4年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	日本建築史	2年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	西洋建築史	1年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	近代建築史	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築デザイン論	5年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築防災工学	5年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画学	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境工学Ⅰ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境工学Ⅱ	4年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境工学Ⅲ	5年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備計画Ⅰ	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備計画Ⅱ	4年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境・設備ソリューション学	5年	2
<b>小計</b>			<b>19</b>
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅰ	2年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅱ	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅲ	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築振動論	5年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	土質基礎工学	5年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学基礎	1年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構法	3年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	4年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	5年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鉄骨構造Ⅰ	4年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鉄骨構造Ⅱ	5年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造設計論	5年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料	4年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料実験	4年	1
<b>小計</b>			<b>16</b>
⑧建築生産	建築生産Ⅰ	4年	1
⑧建築生産	建築生産Ⅱ	5年	1
<b>小計</b>			<b>2</b>
⑨建築法規	建築法規	5年	2
<b>小計</b>			<b>2</b>
⑩複合関連科目	建築学基礎	1年	1
⑩複合関連科目	測量学	4年	1

学校種別：高専

学校課程コード：1931-001-110

所在地都道府県：石川県

審査受付番号：171590

学校名 課程名：石川工業高等専門学校 建築学科

対象入学年：平成30年度(2018年度) 修業年限：5年

新規申請の認定通知日：2017/12/25

必要な実務経験年数 試験時：最短0年 登録時：最短0年

変更申請の認定通知日：2018/12/25

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
⑩複合関連科目	測量学演習	5年	1
⑩複合関連科目	建築工学総合演習	4年	1
⑩複合関連科目	地域・都市計画	5年	1
小計			5

①～⑨計 63

①～⑩計 68

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上    ②③④ 2単位以上    ⑤⑥⑦ 3単位以上    ⑧ 1単位以上    ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例：上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時：0年 登録時：0年となる)。